





俺は山下涼介、  
18歳、  
格闘家である。



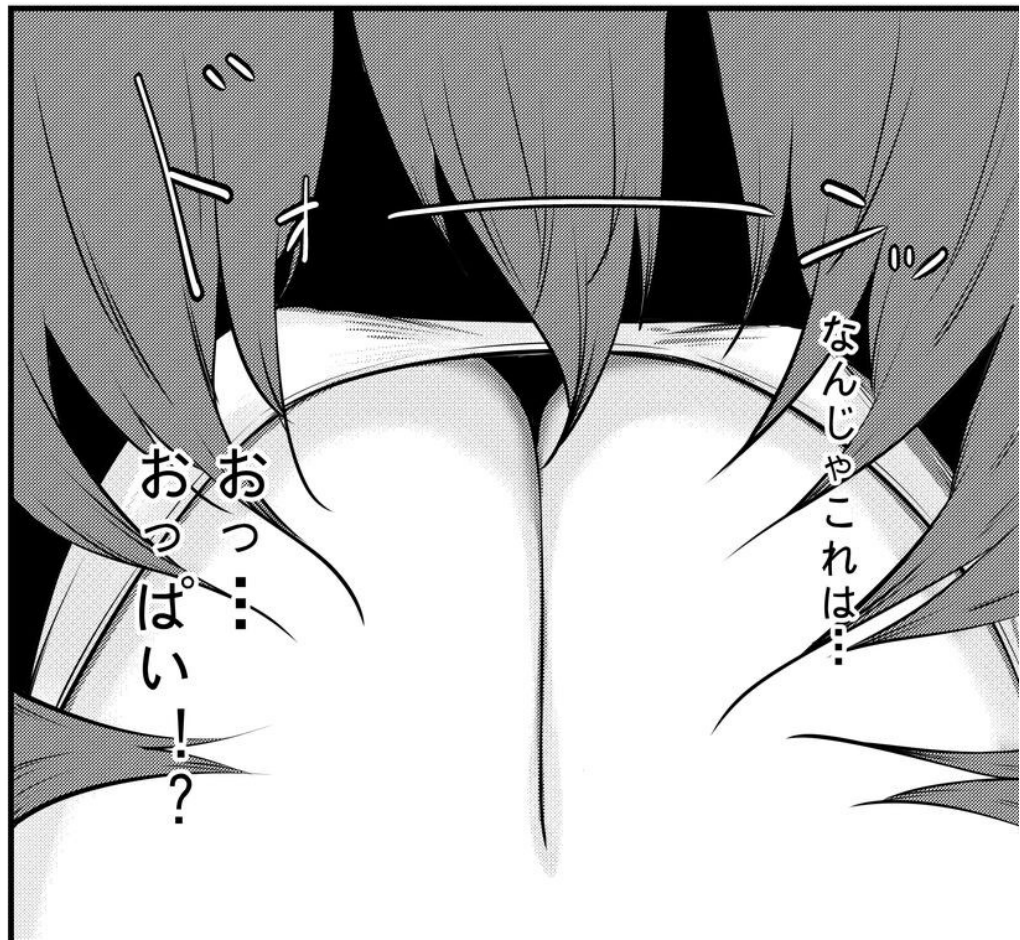
今朝トイレに  
行ったら、  
ちんぽが  
見つからなく  
なってしまった

え？

それに…



顔は…？



なんじゃこれは…

おっ…  
おっ…  
おっ…  
はい！？



俺?

いふし様...



あーあーあーあーあー



でもなぜ？

なぜ俺は  
女の子に  
なってしまうた

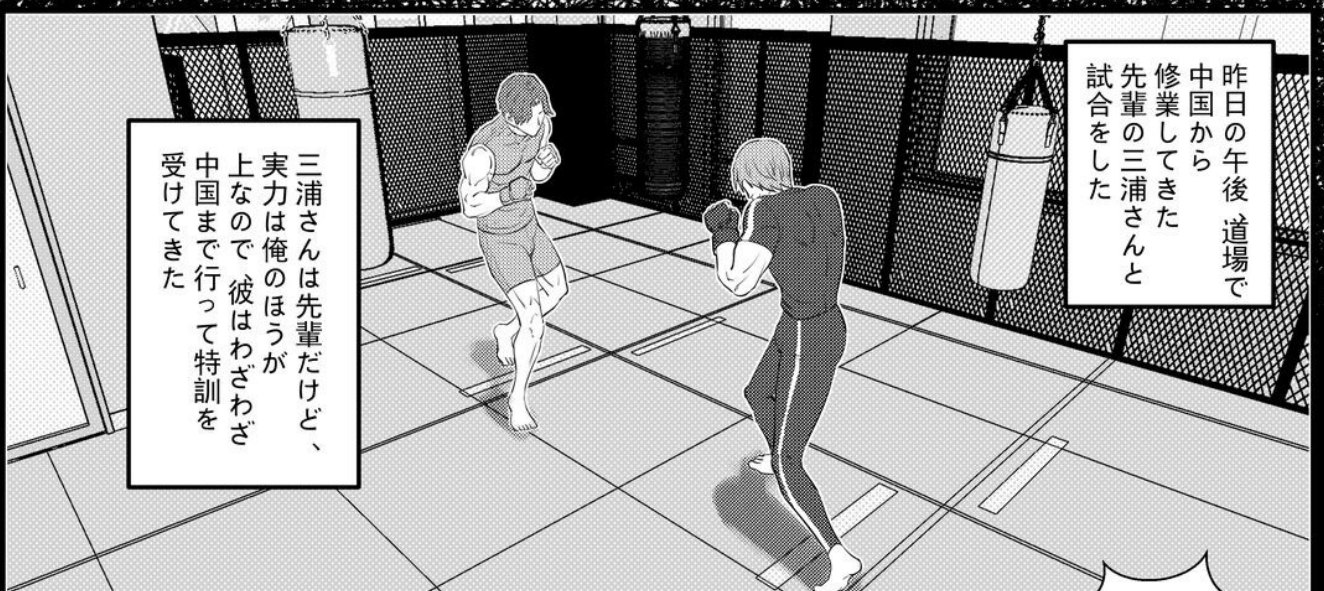
そしてなぜ俺は  
ここにいるんだ？

昨日…



本当に  
俺なのか？

よく見たら  
めっちゃめっちゃ  
可愛いじゃないか



昨日の午後 道場で  
中国から  
修業してきた  
先輩の三浦さんと  
試合をした

三浦さんは先輩だけど、  
実力は俺のほうが  
上なので 彼はわざわざ  
中国まで行って特訓を  
受けてきた



俺

先輩！中国で  
学ばれたものを  
見せてください！





でもどう見ても  
本物のようだ

俺を  
自分が女だと  
認識させる  
幻覚なのか

マジック?  
催眠術?

なんの  
術なのか、



でっか!!

これ俺の胸?!



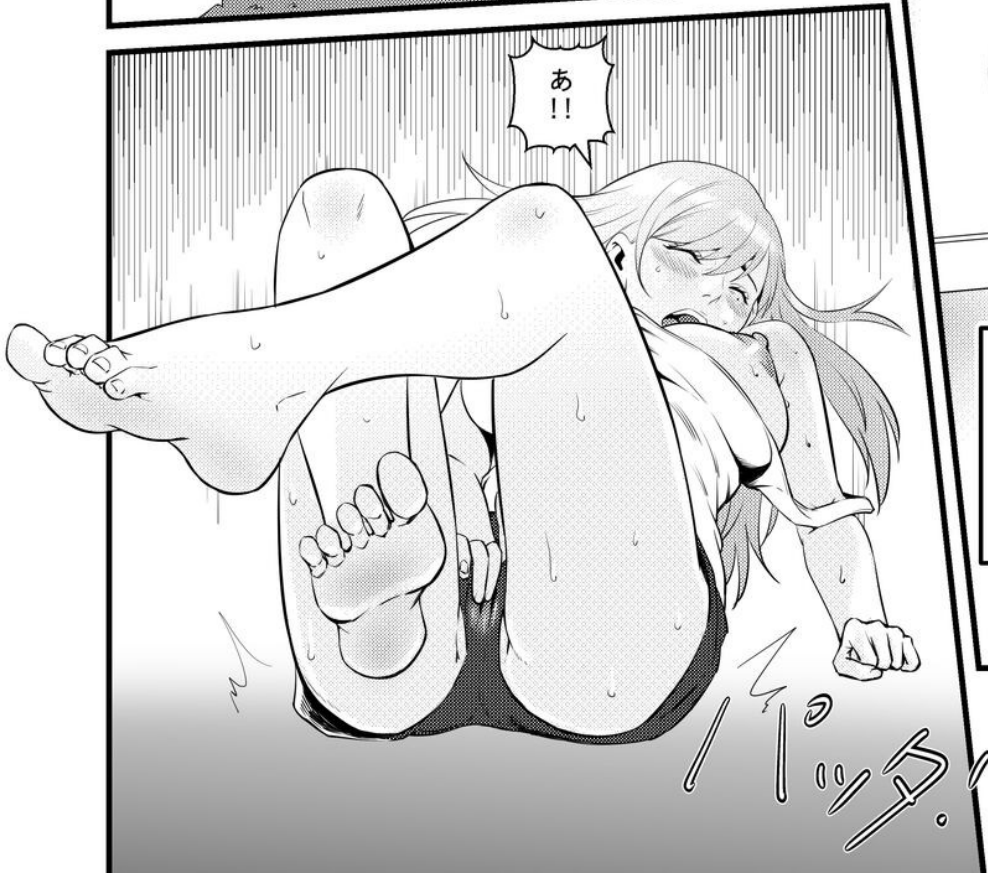
キュウ!



こうなったら!

触ってみよ!!







何が出てくる...  
おしっこ?  
それとも射精か?  
女も射精するのかわ?

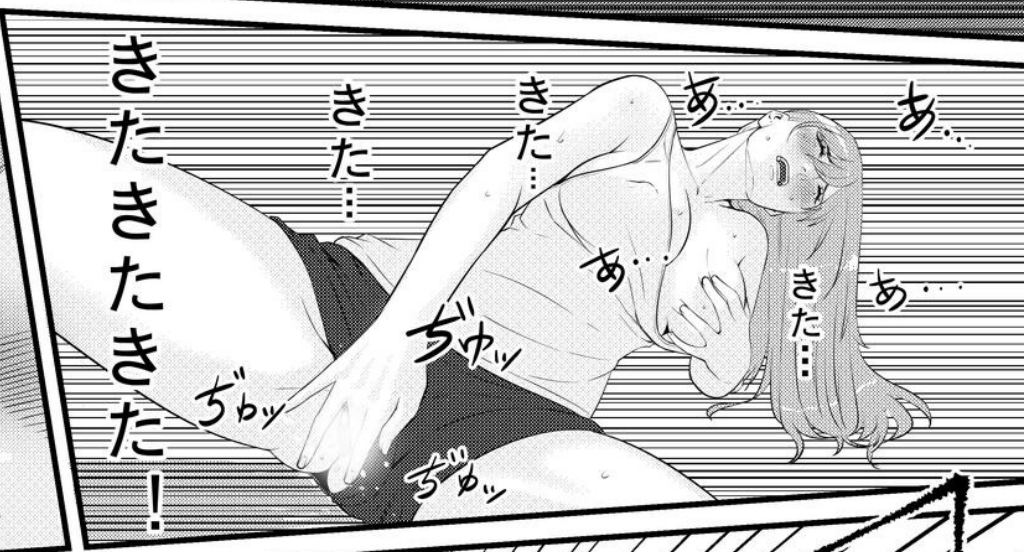
ダメ...!

来る!  
出したい!!

これがクリか?  
ピラピラは?!



何かが出てきた!  
我慢汁...  
じゃなくて愛液か。  
パンツが濡れてる...



きたきたきたきた!

きた...  
きた...  
きた...

あ...  
あ...  
あ...

きた...  
きた...



いく!!

あ  
あ  
あ  
あ  
あ

# ふー

これが  
女のオーガズムか？  
男とは全然違うな

異世界に  
いったって感じ

この気持ち、  
やみつくわー

くそずるいなあ、  
女っていつも  
こんなに  
気持ちいいのか。

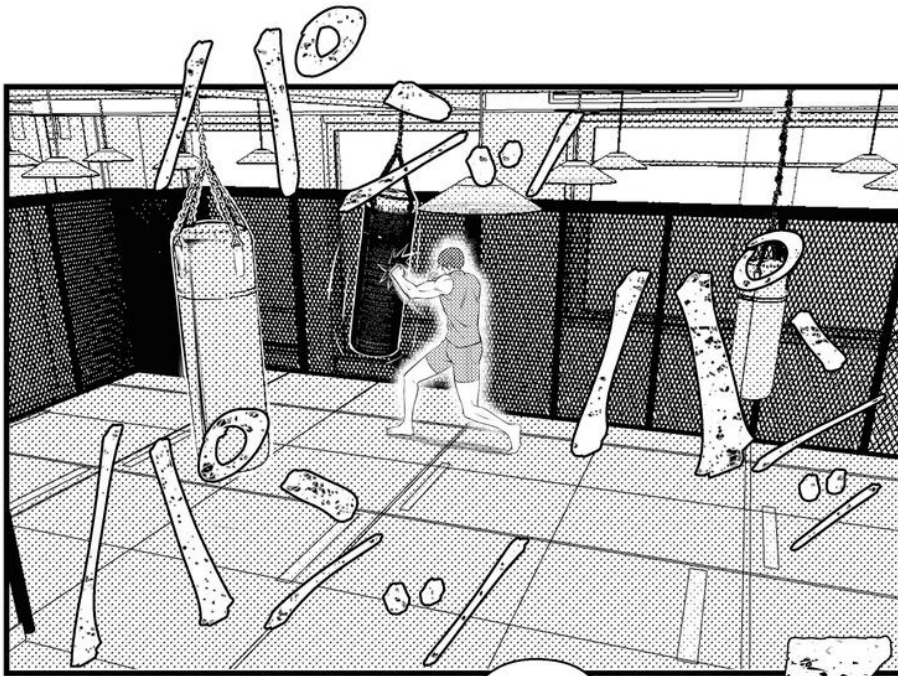
# ふわふわ

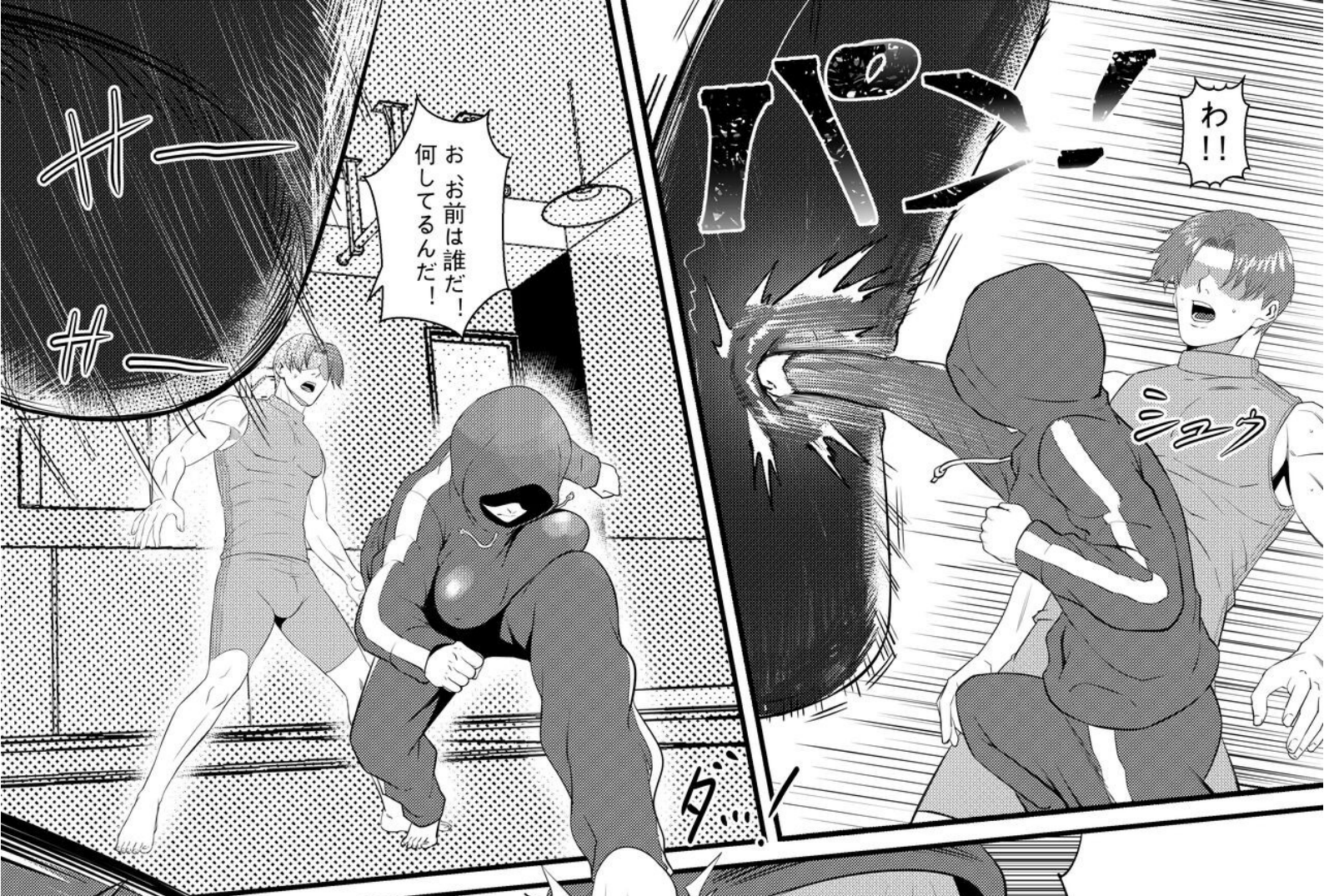
まだ先輩の術が  
解けていないのか。

俺は…

一体何を  
しているのか……

あの野郎……

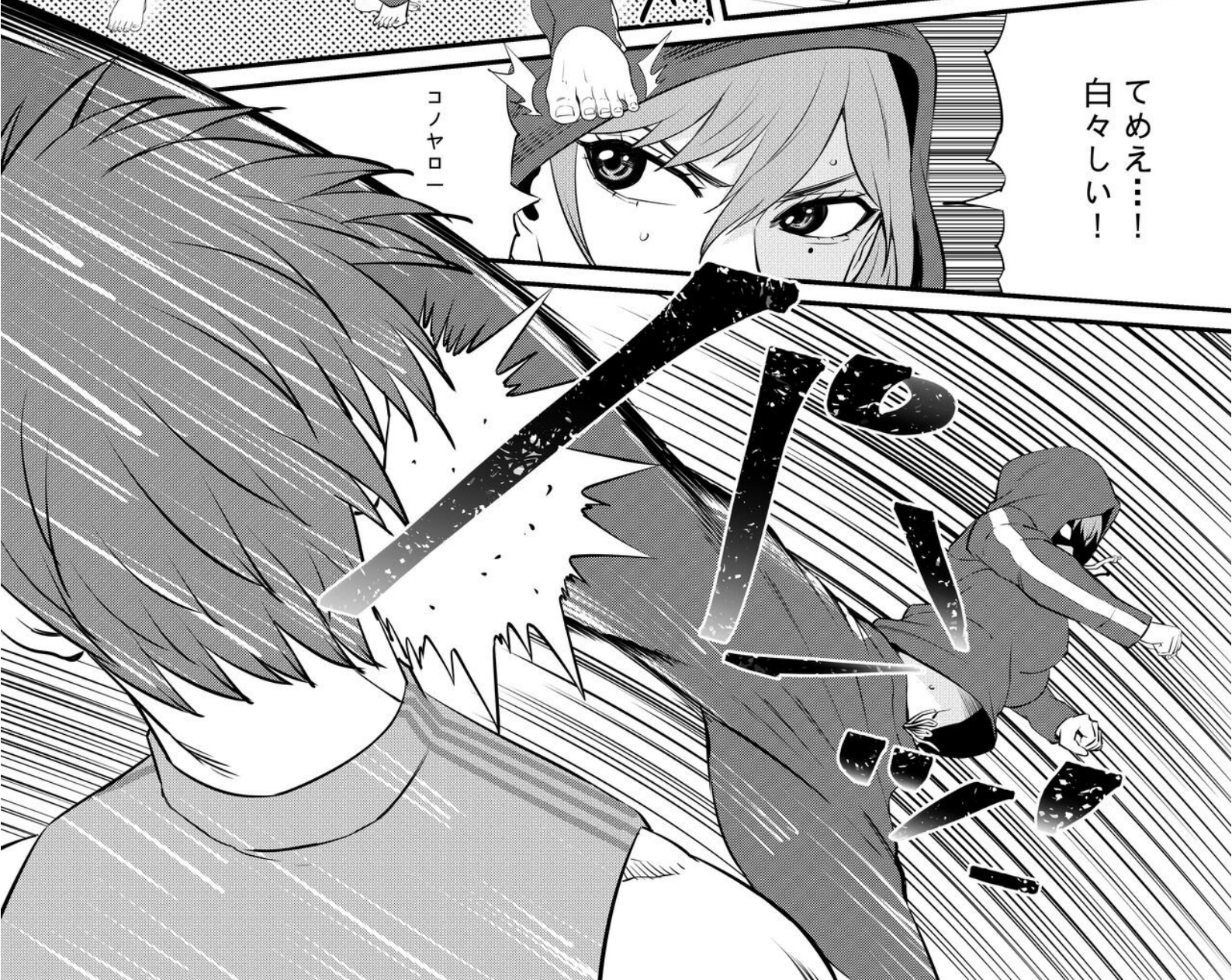




おお前は誰だ！  
何してるんだ！

わ!!

ダ...



コノヤロー

てめえ...!!  
白々しい！



山下涼介だよ!!

よく見る、俺だよ!



やめろ!

女でも容赦はしねえぞ!

女?

涼介...?

君はもう乾坤点穴大法を完璧に習得している。大切に使いなさい



乱用しないようにくれぐれも注意しろ。

この術にかかった者は、まったく反対の存在になってしまう。

承知いたしました

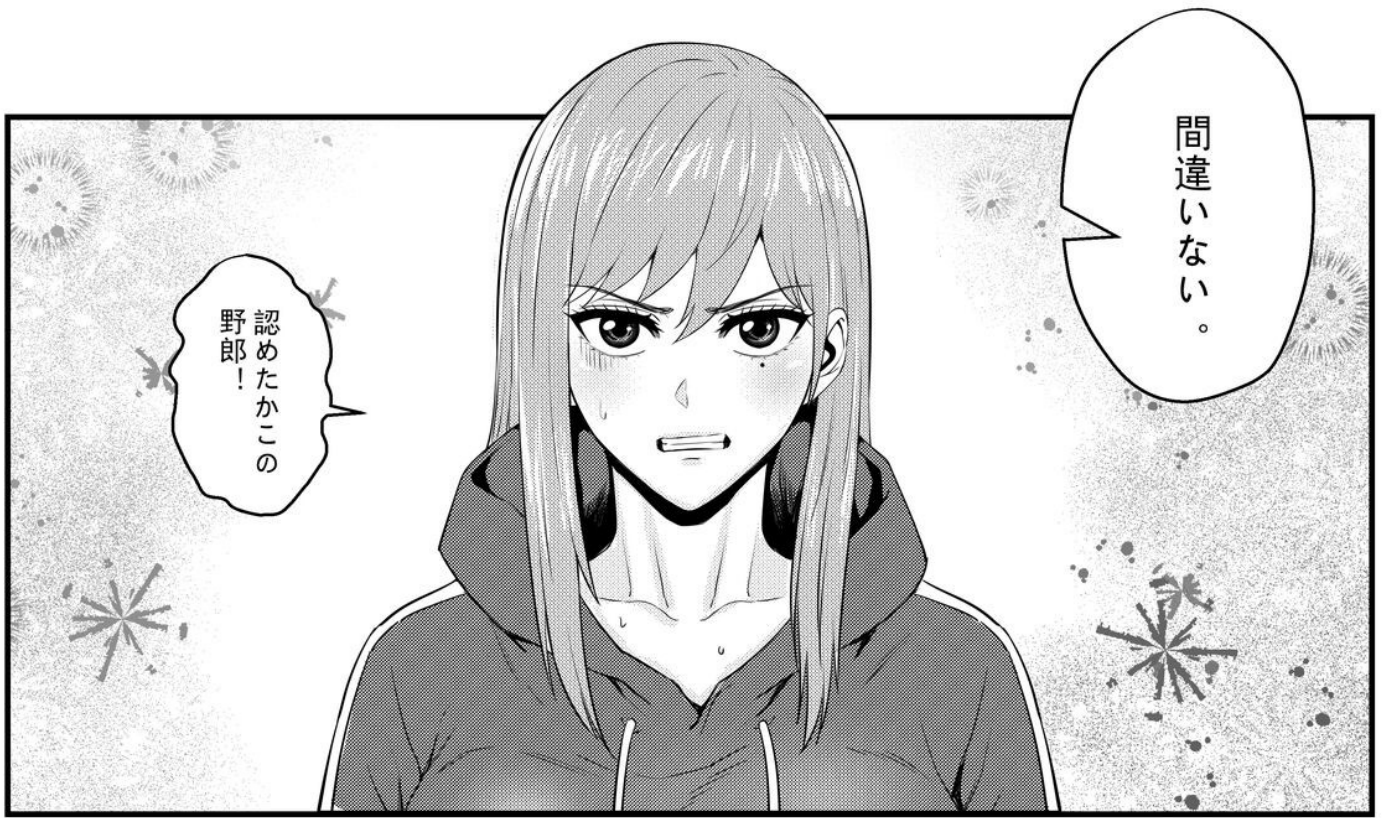


ありがとうございます。師匠



あのじじいが出たらめを言っていると思っていたが...

なるほどそういうことか...



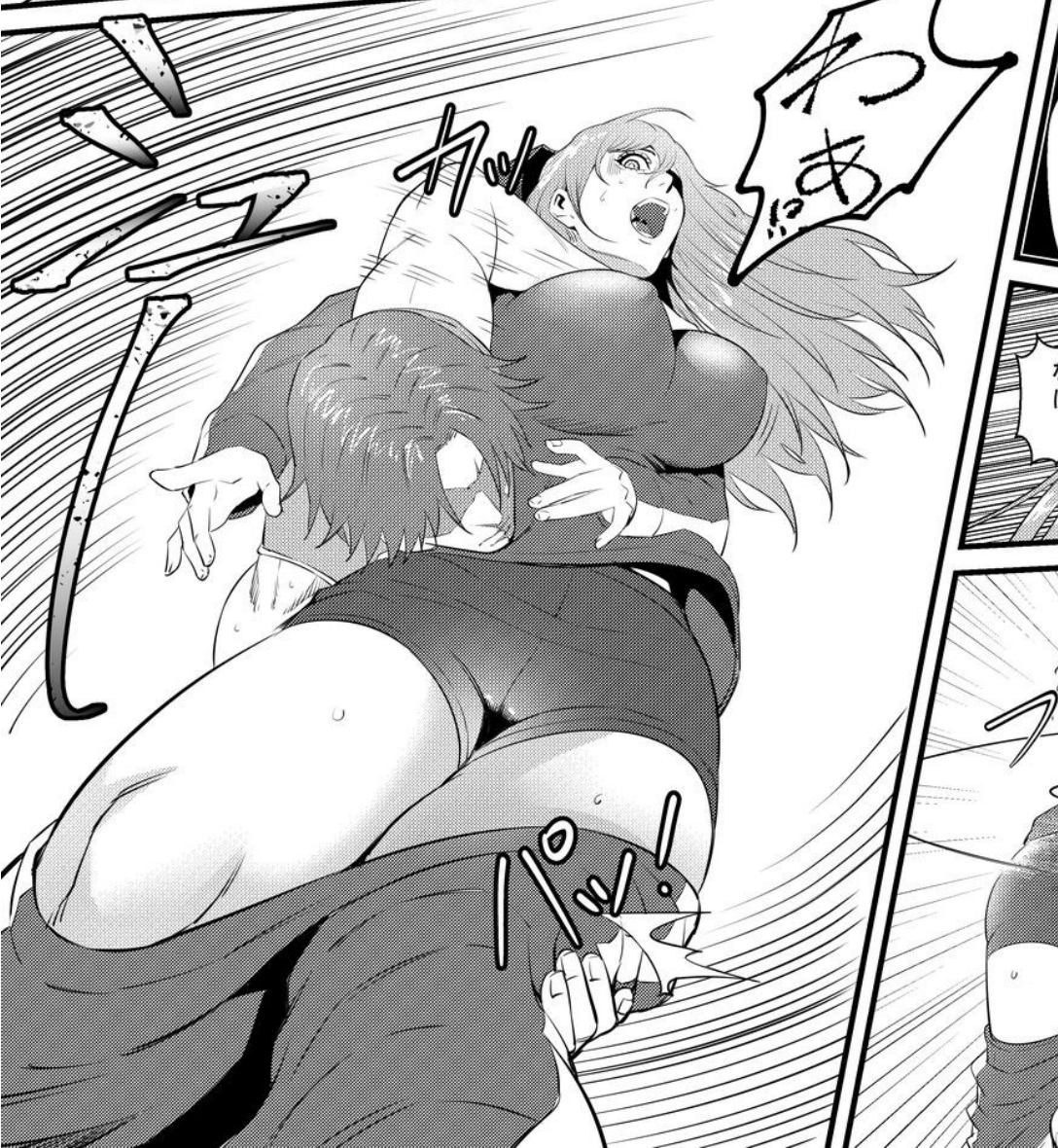




すぐに元に  
戻さないと、  
マジで  
殺すからな！

う！！

うふふ、  
学習しろ



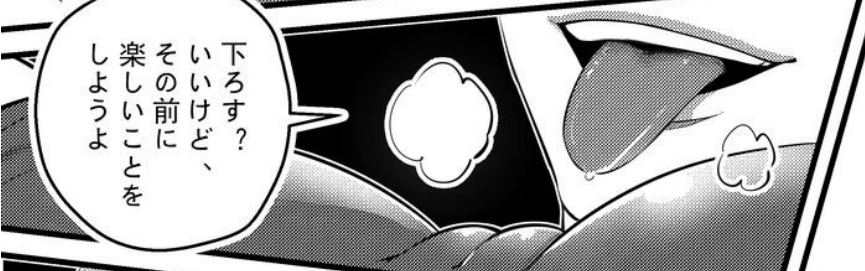
今の君じゃ  
まったく相手に  
ならないんだよ。





わははは！  
お前、  
今は女だぞ。

男と比べて  
全然力も頭も  
だめだよ、  
馬鹿が。

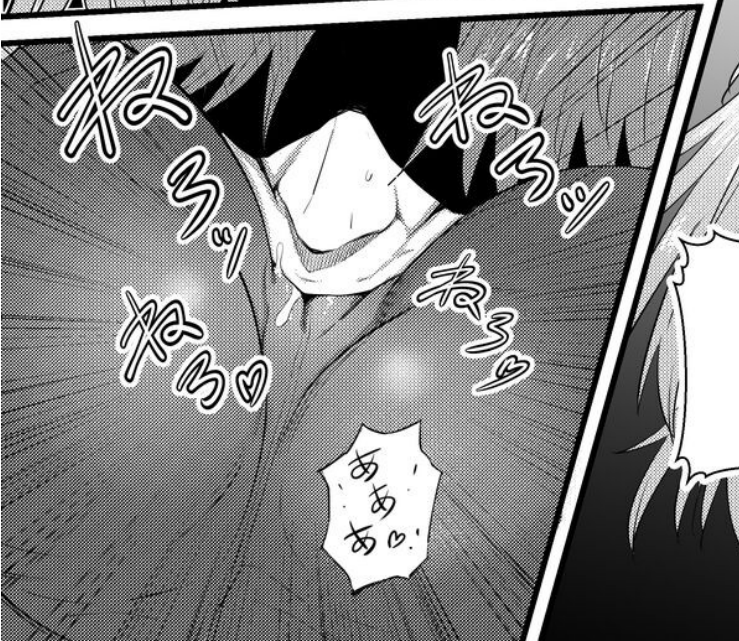


下ろす？  
いいけど、  
その前に  
楽しいことを  
しようよ



こらいつ…  
まさか…

おい！  
何するんだ？  
やめろ！



ねろ  
ねろ  
ねろ  
ねろ  
あぁあ



やばい、  
予想外の…！

おろせ！



変態？  
お前が俺を脚で  
挟んできたんだろが。

こっちも  
しょうが  
ないんだよ



ああああ!!

何してんの？  
この変態!



分かったよ!

脚を広げるから、  
下ろして

くそっ、  
なんであいつが...  
でもなんか  
気持ちいい...



はあ、  
これでだいぶ  
楽になったよ

もういいだろ、  
早く  
下ろしてくれ!



ズズズ...

おお、  
ピンクじゃん、  
かわいいなあ

嘘だろ!?  
こいつ  
イカレてんの?

おい! 下ろすって  
言ったじゃないか!  
このウソつき!

それに俺は男だぞ。  
気持ち悪くないのか?

ん? 男?  
どこの男がこんな  
かわいいおまんこが  
ついてるんだ?

いちごみたいに  
美味しそうだわ...

いただきます

ギャー  
やめろ!!

やめろ!  
ああ!!

暖かくて柔らかくて、  
なんか気持ちいい

下ろしてくれ!  
アハ!ア!

べろか!? べろを  
入れてきたのか!?

やめろ!!



くそ、  
死にたい…

先輩の前で  
イッてしまった、  
恥ずかしすぎる…

お前、  
結構感じ  
やすいん  
じゃないか？

え？  
もうイッちゃうの？



くそっ、  
なんかお前が  
うらやましく  
思っちゃったよ。

おい！  
また何すんだ？！

ってことは、  
男だったときの  
お前はけっこう  
お強いんだ



乾坤点穴大法は  
お前を反対の  
存在として  
変えてしまうんだ。



お前はもう  
イッたけど、

俺はまだだぞ



やめて!!

逃げないと。  
これ以上続けたら……

くそっ 足が  
ガクガクして、  
全能力が入らない……



冗談じゃない、

もう勘弁してくれ



性格も臆病に  
なっちゃったね……

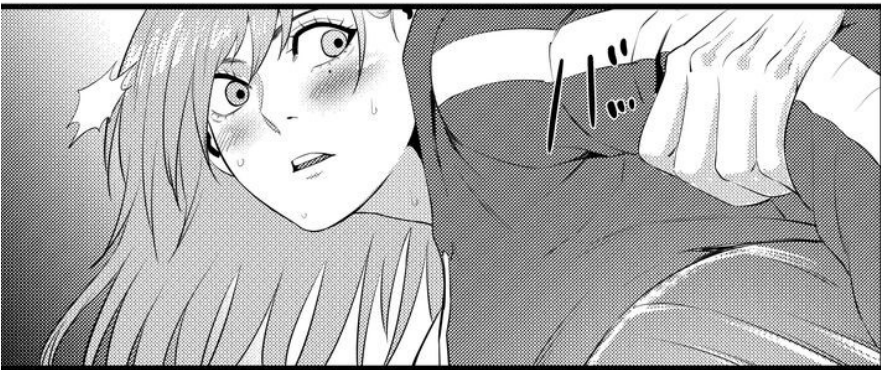
うへへ……



やだ!!



この  
体位悪くないな、  
後ろからやろう



さあ...

楽勝だわ、  
片手で十分だ。



やめろ!!

おおお、  
すげえでけえ

くそっ!  
これが男女の  
パワーの差か!



きゃー

身動きが  
全然取れない...

もうだめだ

またイッたのか？

参った、勘弁してくれ

ダメだ！  
また…  
あ♡  
ちゅ  
ちゅ

またイッちゃう！  
あ♡  
ちゅ  
ちゅ  
ちゅ

くそこれは  
恥ずかしい……

まだ  
満足できてない  
みたいだね…

ぬる…

やだ…  
もういい

ぬる…

ほらほら、  
すごく濡れてるな…  
あ♡  
ぬる…  
ぬる…  
ぬる…



そろそろ  
本題に  
入るかな。

キキ  
キキ



これ、  
大きすぎないか？

や...  
やめてください

これを  
入れられたら、  
絶対死んじゃう...



もう当たってるよ！  
刺さっちゃおう！！

でも気持ちいい、  
止めないで…

あ

あ

あ

あ

あ

ゴックン！

ゴックン！

ゴックン！

ゴックン！

ゴックン！

ゴックン！

あ！！ま、  
待って…

来る！

何か出てきません！

何が…！！

あ

は

あ

は

ゴックン！

ゴックン！

ゴックン！

ゴックン！

ゴックン！

ゴックン！



頭が真っ白…  
なにも  
考えられない…

畜生…お前  
本当にあの  
嫌なやつ  
の涼介か？

あまりにも  
可愛いから、  
元  
戻したくないんだけど。

美しい肉付きだな…  
まるでルーブル宮殿の  
芸術品だよ…

そんなつまらないこと  
言わずに、  
続きをしよう

先輩の言葉は  
聞こえるけど、  
答えることが  
できない

話そうとしても、  
口からは  
「んんん」しか出せない。

イキ過ぎて俺が  
どうかしちゃったのか。

それとも俺が  
諦めて完全に  
女性になったのか





うう...

泣いてんの？



俺はもう、男としてのプライドを失ってしまったんだ。



先輩が俺を元に戻しても、どう向き合えばいいのか



安心しろ、今日から俺が君を守る。

お前が何を考えているのかわかるよ。



先輩!!







涼介？  
誰それ？  
知らないな？

おい！  
何をしてるの？  
涼介！！

ばかなことを  
言うな涼介は  
お前だよ！元  
戻してあげるから  
しっかりしろ！

れろ♡

れろ♡



試合よりも  
疲れるなこれ

ああ、  
くたくただよ



あれ？

ぢゅる



こんなもんで  
終わったと  
思ってるの？

まだまだですよ？  
先輩！♡

え！？

いいけど、  
ちょっと  
休ませて、  
な？

俺は女になった。  
先輩とセックスしたい。

私はもう男に  
戻れない。



うあああ！！  
お願いだから、  
ちょっと  
休ませてくれ！

涼介~~~~~

私も私なりに  
仕返してやる！



だったら、

ちよっつ…  
ちよっつと待って！！

ぢゅる

END

読んでくださってありがとうございます。  
初めてこのタイプの作品を描いてみました。  
もし皆様お気にいってくださったら、  
この物語の続きを描くつもりです。  
また、次の作品の制作に努力します。  
ありがとうございました。

